

ジェンダー平等教育の推進

男女共同参画 vol.51～子どもたちと地域の今と未来の幸せのために～

町民のウェルビーイング(心身が幸せで社会的に良い状態)の実現と地域の持続可能な発展のためには、誰もが尊重され、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる**ジェンダー平等**の推進は不可欠です。その前提となる意識の醸成を地域全体で図るため、『子どもたちと地域のジェンダー平等学び合い事業』を龍郷町と宇検村と連携して実施しています。

計画の重点目標Ⅰ ジェンダー平等意識の浸透

施策の方向

- 1 子どもの頃からのジェンダー平等教育の推進
- 2 住民のジェンダー平等教育・学習の推進
- 3 役場における男女共同参画・ジェンダー平等の理解の浸透
- 4 男女共同参画・ジェンダー平等に関する広報・啓発の推進
- 5 性別により格差や不平等が生じないための制度・慣習の見直し等
- 6 福祉分野におけるジェンダー平等の浸透
- 7 性の多様性についての理解促進と尊重される環境整備

主な取組

- ・児童生徒や保護者・地域の方々対象のワークショップ
- ・教職員セミナー・役場職員研修
- ・町広報紙への広報啓発記事の掲載
- ・啓発資料・関係図書の展示

■子どもたちと地域のジェンダー平等学び合い事業とは

子どもたちと子どもたちを育む学校教職員や保護者・地域の方々が人権・ジェンダー平等の理解を深めることにより、誰一人取り残されない一人ひとりが尊重される地域づくりを促進することを目的としています。

【事業内容】

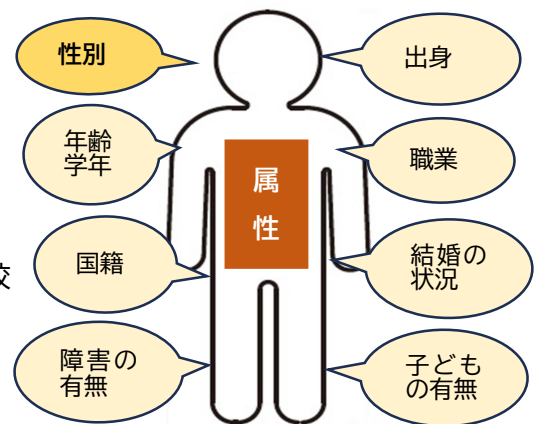
各学校で、全ての児童・生徒対象のワークショップ、教職員対象のセミナー、保護者や地域の方々対象のワークショップを実施します。

【これまで実施した学校等】

昨年度まで：池地小中学校、阿木名小中学校、古仁屋高校(生徒のみ)
幼稚園・保育園(教職員のみ)、嘉鉄小学校、古仁屋小学校
今年度：古仁屋中学校、諸鈍小中学校、伊子茂小中学校、西阿室小学校
油井小中学校 ※事業は継続中です。

【ワークショップで学ぶ主なこと】

- ・初めてや慣れていないことは、誰にとっても難しい。
- ・「ちがいは」「まちがいは」ではなく、宝
- ・私を主語に自分の気持ちを伝える **Iメッセージのコミュニケーション**と新しい価値を生み出す**対話**の大切さ
- ・ひとり一人は多様な存在であるにもかかわらず、**性別**をはじめ目立つ属性で「こうだ」と決めつけてしまうと、差別や排除、不必要な区別が生まれたり、個人の個性や能力が見えなくなり可能性を狭めてしまう。



■子どもの頃からの人権・ジェンダー平等教育は、自己肯定感とチャレンジする意欲を高めます

ワークショップに参加した子どもたちは、大きくうなずいたり、笑ったり、とても楽しそうに学んでいます。始めは発表に尻込みしていても、最後には積極的に手が挙げられます。また、先生方は子どもたちへの声掛け、大人は自分の子育てや孫との関わり方、地域の話し合いのあり方について振り返る貴重な機会になっています。

子どもたちは学校で学んで大切な気づきを得ていますので、もっと多くの保護者をはじめ大人の方々もワークショップを体験していただきたいところです。各地でその機会を作っていただき是非ご参加ください。

【学び合い事業に参加した子どもたちのいろいろな声(今年度)】

「みんな違ってみんないい」という言葉が、すごく大切なんだと改めてわかりました。

性別が男の子だから、女の子だからといって、何が好きで何が嫌いかは、正解はなく、人それぞれだと思うようになりました。

人口減少が予測されるなかでの、「多様性」の大切さが少し理解できました。

自分の個性や考え方、自分らしく生き方を教えてもらいました。

相手の意見や考え方を尊重することで幸せが増えると思います。



性別やイメージで決めつけるのではなく、その人自身を知ることが、大事だとおもいました。

令和8年度のワークショップの様子